

平成 29 年度 海田町立海田西小学校学校評価 (中間評価)

教務部 活用力の向上

○学力調査における活用問題で 30%未満の児童を学級で 20%未満になることをめざす。

具体的な方策 (1 2 3)	成果 (○) と課題 (▲)
<p>1 学力テストの結果を分析し、活用力の向上に生かす。</p> <p>2 児童の実態に応じた指導 ○朝学習…基礎的な問題に取り組む。 ○座学…活用力を問う問題に取り組む。 ・習熟度別に分かれて行う。 ・管理職、専科が入り指導する。 ○給食準備中に個別指導を行う。 ・週 3 日 (月・火・金曜日) ・学年を決めて ○放課後に個別指導を行う。</p> <p>3 新聞を活用した表現力の向上 ○新聞への全員投稿 (字数制限あり) に定期的に取り組む。 ・月に 1 回</p>	<p>○基礎・基本定着状況調査においては、国語・算数・理科の活用問題で、30%未満の児童が学級で 14.8%であった。</p> <p>▲NRT においては、30%未満の児童が 2 年生 4.5%, 3 年生 21.4%, 4 年生 31.0%であった。</p> <p>○時期に応じて予定通り取り組んでいる。</p> <p>○4月から7月まで、毎月子ども新聞の発展問題に投稿した。</p> <p>▲1年生はひらがな指導をしている時期なので、書ける児童のみの参加であった。</p>

自己評価

3点/4点満点

教務部 授業力向上と授業改善

- 基礎・基本定着状況調査の質問紙の項目において、県平均より 3ポイント以上上回る。
- 解決しようとする課題について予想する (させる) 授業ができた。
- 自分の考えとその理由を明らかにして発表する (させる) 授業ができた。

具体的な方策 (1 2 3)	成果 (○) と課題 (▲)
<p>1 「西小学びのスタイル」の指標に沿った授業力向上 ○対話と協働を重視した授業づくり ○5月に、全学年共通の指標を作成し掲示し、児童と教員の共通認識をもつ。</p> <p>2 話型の活用 ○低・中・高で身に付けるべき話型を掲示し、それに取り組む。 ○「課題について予想して見通しある授業」「理由づけで発表」をもちこむ。</p>	<p>○話型や「西小学びのスタイル」を全体で確認し、教室に掲示をした。</p> <p>▲掲示を活用し、共通認識したところまでなので、それを実際にどのように実現していけばよいか授業研究で取り組んでいく。「理由を言おう」と呼びかけると挙手が減る等の実態がある。</p>

自己評価

3点/4点満点

生徒指導部 相手を大切にした返事・あいさつ・言葉づかい

- 「はい」と「あいさつ」・「ことば」を相手のことを考えて使うことができる。
- 縦割り活動で自己肯定感を高める。

具体的な方策 (1 2 3)	成果 (○) と課題 (▲)
1 毎学期, 2 週間かけてあいさつ名人カードに取り組む。 ○ 期間を決めて教員が見取り, 指導する。 ○ あいさつ名人達成率 見取り 90% をめざす。	○ 89% を達成することができた。 ▲ あいさつできていない児童が固定化されている。今後はあいさつの小道であいさつをする場作りや, 教師の声かけによってあいさつができる児童を育てたい。
2 朝の健康観察で, 名前を呼ばれたときに, 相手にはっきりと聞こえるように返事をする。 ○ 教員が見取り, 指導する。 ○ 全児童の 80% 以上をめざす。	○ 95% を達成することができた。 ○ 名前を呼ばれたら大きな声で返事ができた。 ▲ 引き続き, 取り組みを進めていきたい。
3 学校生活では, 友達を「～君」「～さん」をつけて呼ぶ。 ○ 縦割り活動の中でも実践し, 異学年での立場を考え, 自己肯定感を高める。 ○ 月に 1 回児童の自己評価を行う。(6 月・7 月) ○ 全児童の 80% 以上をめざす。	○ 79% を達成することができた。 ▲ 授業中に下の名前で呼んだり, ○○ちゃんと呼んだりしている場面が見られた。

自己評価

4点 / 4点満点

生徒指導部 美しい環境づくり

- 無言ですみずみそうじ ○校内環境整備

具体的な方策 (1 2 3)	成果 (○) と課題 (▲)
1 時間いっぱい掃除する。 ○ 教室での自己評価 全児童の 80% 以上 ○ 担当教員の自己評価 70% 以上 ○ 掃除評価表を作成し, 意識づける。	○ 児童の自己評価 81% を達成 ○ 担任の評価 79% を達成 ▲ 教師によって「だまって」の定義にばらつきがある。「そうじのために会話はよしとする」などの取り決めをすることで, 一貫性のある指導体制をとりたい。
2 黙って掃除をする。 ○ 教室での自己評価 全児童の 80% 以上 ○ 担当教員の自己評価 70% 以上 ○ 掃除評価表を作成し, 意識づける。	縦割り掃除開始・・・6月 1年「わくわく・どきどき・はらはら」プロジェクト
3 くつ箱の整理整頓 ○ 教室での自己評価 全児童の 80% 以上 ○ 担任の自己評価 70% 以上 ○ 学期に 1～2 回重点的に評価する。	○ 児童の自己評価 77% を達成 ○ 担任の評価 80% を達成

自己評価

3. 5点 / 4点満点

保健安全部 体力の向上

- 3分間走の充実 ○縦割りサーキットの充実

具体的な方策（123）	成果（○）と課題（▲）
<p>1 運動タイム（3分間走）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師も一緒に走り声かけを行う。 ○ 強化週間を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・1学期（5月12日～5月24日） <ul style="list-style-type: none"> ※6月2日（金）チャレンジタイム ・2学期（12月1日～12月8日） <ul style="list-style-type: none"> ※12月13日（水）チャレンジタイム ・3学期（2月19日～2月26日） <ul style="list-style-type: none"> ※2月28日（水）チャレンジタイム ○ 委員会の児童を中心に組みませる。 <p>2 授業でサーキット運動を行い、体力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 握力・50m走に重点的に取り組む。 ○ 学年実態に合わせた用具を活用する。・ゴムボールで遊びながら握力向上 <p>3 外遊びの奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年に2回外遊び週間を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・2学期 ・3学期 ○ 放送・ポスター等による呼びかけを行う。 	<p>○強化週間を設け、計画的に実施できた。教師も時間には運動場に出て一緒に走り、児童の意欲を高めることができた。</p> <p>▲委員会児童への指導が十分でなく、時間通りに開始できない日があった。</p> <p>○縦割りサーキットで、ゴムボールにぎりや握力計による握力強化に取り組んだ。また、短距離の力をつけるために、折り返しリレーを取り入れ、遊びの中で走力をつける工夫をした。</p> <p>▲1学期は運動会があり、外に出る機会も多く、また、夏場にあたり、熱中症の心配もあったため、呼びかけ等を行わなかった。</p>

保健安全部 生活習慣をつくる

- 早寝早起き朝ごはんリズムのよい生活習慣を身に付ける。（寝る時間を整える）

具体的な方策（123）	成果（○）と課題（▲）
<p>1 早寝早起きカレンダーの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に1回、期間を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・1学期（5月15日～5月21日） ・2学期（9月4日～9月10日） ・3学期（1月22日～1月28日） ○ 期間中は毎日提出し、担任が確認する。 ○ 個別に指導が必要な場合は指導する。 <p>2 保護者連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 懇談で早寝の実態報告から就寝時刻を考えていただく。 ○ 学校からは就寝時刻の目安を提示（低学年：9時 高学年：10時） ○ おたより等で啓発 <p>3 食の学習会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養士との連携 ○ 参観日に食育授業 ○ 懇談が組めるなら懇談で話をして啓発 	<p>○早寝早起きカレンダーの取組みの結果、学校全体では、早寝の達成率が80%（80.4%）であった。期間中の毎日のカレンダー提出や個別の声かけが一定の効果をあげている。</p> <p>▲昨年度同様、同一学年に課題が見られる。</p> <p>○就寝時刻の目安を出したことで、意識して計画を立て、実践している家庭が多かった。</p> <p>▲家庭の事情もあり、就寝時刻は家庭で設定しているが、あまりに遅すぎる時刻に設定し、その時刻が達成できたからよしとなっている児童がいる。そのような児童への指導が課題である。</p> <p>○担任と栄養士が協力して、参観日を中心に食育授業を実施している。</p>

自己評価

3点/4点満点